

ビュースポット

みそぎ浜

木古内駅から津軽海峡に直達した海岸。春のみそぎ祭りの1月15日には4人の行修者が、このみそぎ浜でご神体を清めます。

新幹線ビューポイント

平成28年3月に開業した北海道新幹線を間近に見ることができます。在来の線路と分岐もありタイミングが良ければ新幹線と貨物列車のツーショットも...

佐女沼

佐女川神社から山中奥にあり、神社の主祭神・玉依姫命が住むなど、幾多の伝説があります。沼の周囲には遊歩道もあり、春から秋にかけて森林浴を楽しむことができます。

薬師山・萩山・芝桜

薬師山と萩山には芝桜が群生し、展望台から町並みや津軽海峡が一望できます。山中には三十三観音が安置され遼南有数の霊場としても知られています。

札苺 芝桜園

木古内町札苺地区の国道沿いには様々な花が植栽されています。なかでも札苺芝桜園は一面一面とどりの芝桜が咲き誇っています。

威風堂々と佇む 禅燈寺仁王像



ここに仁王は曹洞宗神祇の山門にあり、仏法守護のために宝徳金剛と那羅金剛の二体が左右に安置されています。大正七年、風雨に侵された像を修復し、その裏面に安置された像と伝えられ、その裏面に安置された像は遼南有数の霊場として知られています。

今に伝わる民衆信仰 一本杉・地藏堂

百数十年前にユリコ沢の土中から発見された一本杉の樹に安置された。地域の人は子宝地蔵、火葬し地蔵として崇められ、信仰な民衆信仰として伝えられている。

歴史スポット

郷土資料館 (いかりん館)

郷土資料館では、全国初の「幼少の歴史」と題して「いかりん館」や「郷土資料館」など、郷土の歴史を伝える展示を行っています。

孤高の仙人像・円空の世界 円空仏



江戸初期に津軽海岸として活躍した円空は諸国行脚の旅を続けながら約100体の仏像を作ったといわれています。寛文16年(1776年)に北海道に上り、新開した地を巧みに活かした彫刻家として道南各地に残っています。木古内町の佐女川神社、西野神社、古泉神社に3体の円空仏が祀られています。

樹齢140年の記念樹 栗原邸大椿

江戸末期に植えられた、樹齢140年以上の樹の大木。5月上旬に幾多の花が咲き誇ります。1972年、道の記念樹に指定されています。

レジャー・お買物

道南トロッコ鉄道

旧JR江差線を利用したトロッコ鉄道。電動と足踏み式があり、子どもから大人まで楽しむことができます。近くには鶴岡農村公園、郷土資料館やに門で有名な神社もあります。 ※毎週土・日曜日営業(11月まで) 金曜日は団体予約のみ

道の駅「みそぎの郷きこない」



北海道新幹線・木古内駅開業!!



きこない 見どころマップ

開拓使判官の碑 (Opening Ceremony Monument)

山形庄内藩士 上陸の地碑 (Monument to the Landing of Yamagata Domain Samurai)

戊辰戦争(箱館戦争)の激戦地

慶応4年(1868年)鳥羽・伏見の戦いに敗れた戊辰戦争は、幕府軍と新政府軍が対峙し、最終的に新政府軍が勝利した。戊辰戦争(箱館戦争)の激戦地として知られています。

栄光と悲劇の威臨丸...サラキに眠る

威臨丸は、1857(安政4)年にオランダのキンデルダイクで産声をあげ、幕府海軍の主力艦として配備されました。開国の際に北海道へ物資運搬船となり数奇な運命をたどります。戊辰戦争で破れ北海道移住を余儀なくされた仙台北白片倉小十郎家臣団401名を乗せて仙台北白の海浜で出航した威臨丸は、箱館経由で小樽に向かう途中、1871(明治4)年9月20日、木古内町サラキ岬沖で座礁。現地地(泉沢)の人々の懸命な救助により乗船者は難を逃れましたが、威臨丸はその数日後に破砕沈没しました。悲劇の幕末維新を背景に栄光と悲劇の威臨丸は、今もサラキ岬沖に静かに眠っています。

それは天保二年に始まった、厳寒の海に命燃ゆる若者たちの祈り

1月13・14・15日

みそぎ参り

天保2年(1831年)神社守の夢枕に「御神体を清めよ」とのお告げがあり、目を覚ますと寒風が吹く1月15日の早朝でした。神社守は直ちに真下を流れる佐女川の氷を打ち砕き、身を切るような冷水で自身を清め、御神体を抱いて海岸に臨むと、河口に大蛇が波に打たれ、その背の上には白衣をまとった美しい女性の姿が見えました。「ああ、聖なる神の使者」と信じ、御神体を無慮となく沐浴し、ふと見ると女性の姿は見え、大蛇は川の上流へより小さな沼(佐女沼)に姿を消されたという。その年から豊漁豊作が続いて村は大変賑わったという。また、安産、交通安全の守護神としても崇められています。

以来、みそぎ参りは伝統行事として毎年1月13日の参籠祭に始まり、15日の朝まで『オマニシキギダ』の勇壮な太鼓の響きとともに修行者は厳寒の中で繰繰り入ります。そして1月15日には、厳寒の津軽海峡に面したみそぎ浜において、穢れなき優秀な4人の青年が、別当・稲荷・山の神・弁財天の4体の御神体を清めます。

アイスキャンデルやかがり火に彩られたみそぎ行列や神燈のライトアップ、地場特産品のグルメフェアなど、様々なイベントも行われます。

歴史のロマンと鮮やかな自然が織りなす交流観光拠点

威臨丸の眠るサラキ岬

サラキ岬には、威臨丸沈没記念碑や威臨丸モニュメントの他、毎年5月には威臨丸誕生の地オランダから贈られたチューリップ5万球が咲き誇り、チューリップ祭りや物産展などのイベントが行われます。小高い丘からは津軽海峡や函館山、遠く青森県半島までが一望でき、津軽海峡の景色を楽しめます。多くの国内外の人々の手によって遼南の交流観光拠点づくりがすすまっています。

5万球のチューリップが咲き誇る... オランダチューリップ花園

威臨丸沈没の津 (Sarakishi Bay)

威臨丸沈没案内板 (Sarakishi Memorial Plate)

威臨丸モニュメント (Sarakishi Monument)